

中国四国教育学会

第68回大会プログラム

2016年11月5日(土)・6日(日)

鳴門教育大学



<目次>

大会参加要領	1
大会日程	2
交通のご案内	3
鳴門教育大学建物配置図	5
鳴門教育大学発表会場等配置図	6
自由研究発表(第一日)	7
公開シンポジウム	19
自由研究発表(第二日)	21
ラウンドテーブル	33

大会参加要領

1. 会場案内

本プログラム3頁以降に、交通のご案内、鳴門教育大学建物配置図、発表会場等配置図を掲載しております。

2. 受付

受付開始時間 8:30 (大会第一日) 9:00 (大会第二日)
受付場所 鳴門教育大学 講義棟 1階ホール ※懇親会受付も同様
大会参加費 正会員:2,000円 (学生会員:1,000円) 臨時(当日)会員:1,000円
懇親会参加費 4,000円 (学生会員:3,000円)
懇親会会場 鳴門教育大学 大学会館1階 学生食堂

3. 発表要領

- ・自由研究発表 個人研究:発表15分、質疑5分
共同研究:発表30分、質疑10分
(ただし、発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。)
- ・総括討議が設定された部会では、部会の最後に20分程度行います。発表者は必ず参加してください。
- ・自由研究発表における共同研究者の氏名は、原則、「発表申込用紙」に記入された順序に従っています。また、○印は口頭発表者です。
- ・発表者は、レジュメを30~40部程度ご用意いただき、当日ご持参ください。万一不足しても、大会本部ではコピー等いたしかねますのでご了承ください。
- ・液晶プロジェクタを用いて発表される方は、各発表会場の開始20分前までに会場にお越しいただき、機器の調整・テストを行ってください。
- ・発表の際、液晶プロジェクタを用いてコンピュータ画面を映写される方は、ノートパソコン(Windows搭載)と電子媒体(USBメモリ)に記憶させたデータをご持参ください。
- ・発表題目は、大会プログラムに記載されているものと同じものを用いてください。
- ・発表取り消しがあった時間帯は、ミニ総括もしくは休憩時間に充てられますのでご了承ください。

4. その他

- ・本プログラムは大会当日必ずご持参ください。
- ・学内の食堂は、土・日曜日は営業していません。会場周辺にも飲食店が少ないため、お弁当(お茶付)(1,000円)の予約を受け付けています。2016年10月21日(金)までに鳴門教育大学大会準備委員会のHPでお申し込みください。<http://www.naruto-u.ac.jp/facultystaff/hyuji/cssse/index.html>
- ・大会当日、名札を付けた大会実行委員会スタッフが会場のご案内をいたします。ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。
- ・やむをえず発表を取り消される場合は、速やかに大会実行委員会までご連絡ください。
【連絡先:湯地 宏樹(088-687-6299) csssec68@naruto-u.ac.jp】
- ・その他ご不明な点がございましたら、学会事務局までお問い合わせ願います。

5. 大会実行委員会および学会事務局連絡先

大会実行委員会

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748 国立大学法人鳴門教育大学

委員長:長島 真人

副委員長:湯地 宏樹

委員:幾田 伸司・石村 雅雄・小野由美子・木内 陽一・村井万里子・山森 直人・余郷 裕次

※代表連絡先:湯地 宏樹(088-687-6299) csssec68@naruto-u.ac.jp (準備委員会共通)

学会事務局

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科 教育学講座内

事務局長:古賀 一博

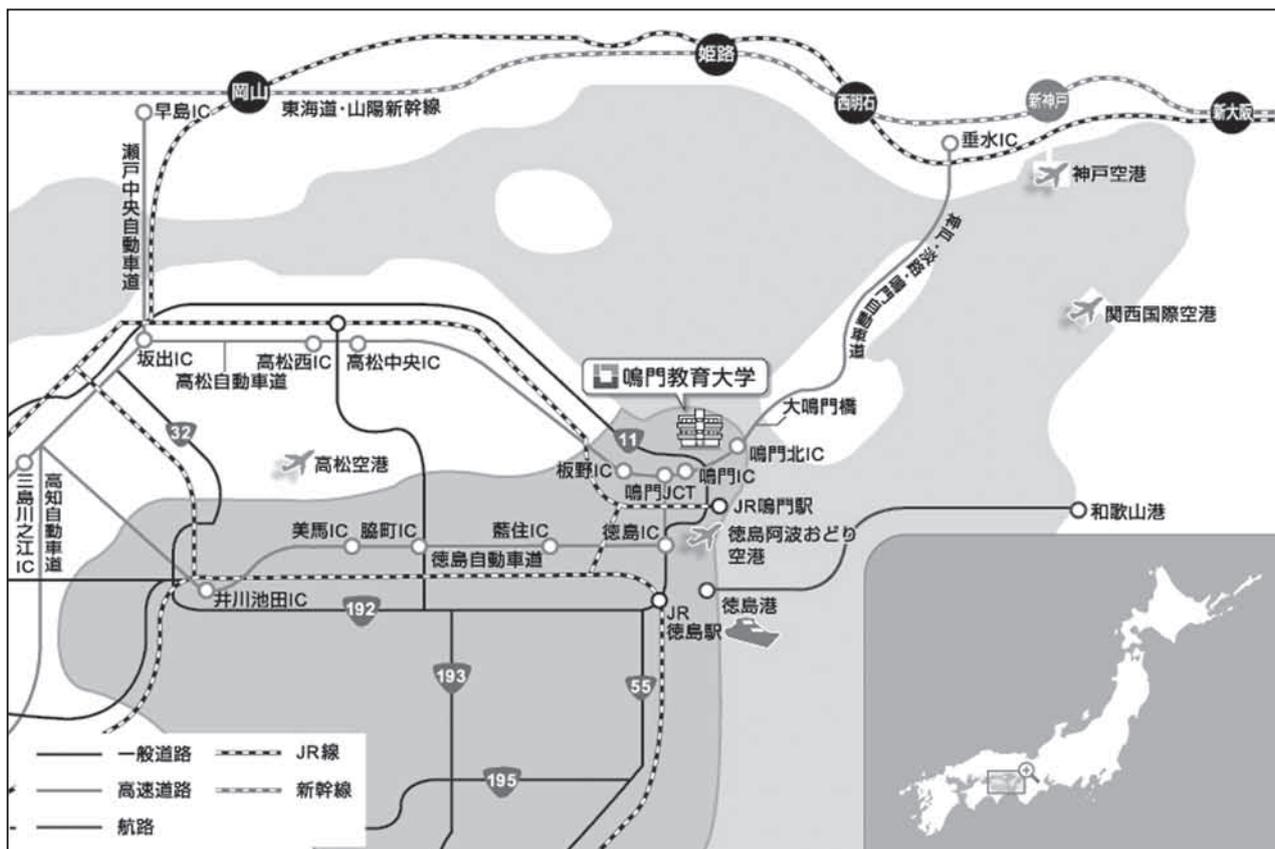
事務局幹事:中島 一恵・久恒 拓也・小松田智菜

※連絡先:中島 一恵(082-424-4610) cssse@hiroshima-u.ac.jp (事務局共通)

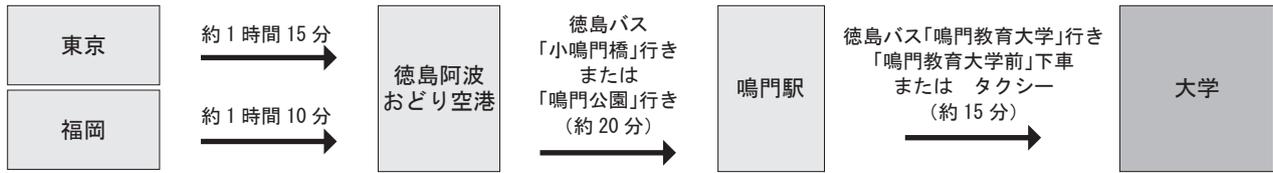
大会日程

第一日 11月5日 (土)		第二日 11月6日 (日)	
8:30～ 受付 (講義棟 1階ホール)		9:00～ 受付 (講義棟 1階ホール)	
9:30～ 自由研究発表	頁	9:30～ 自由研究発表	頁
日本・東洋教育史 部会	8	教育の思想 部会	21
教師 部会	10	日本教育史 部会	22
カリキュラムⅠ 部会	11	西洋教育史 部会	23
学習指導と授業研究 部会	12	教育と社会 部会	24
地域社会と教育 部会	13	生徒指導 部会	25
義務教育 部会	14	教育方法 部会	26
国語教育 部会	16	カリキュラムⅡ 部会	27
音楽教育Ⅰ 部会	17	学校の組織と経営 部会	28
課題研究 部会	18	家庭・幼児教育 部会	29
		教師教育 部会	30
		音楽教育Ⅱ 部会	32
9:50～		9:50～	
道徳教育 部会	7	社会科教育 部会	31
幼年教育史 部会	9		
教育の連携 部会	15		
～12:00 (義務教育、音楽教育Ⅰ部会のみ 12:20)		～12:00	
12:00 昼食・各種打合せ ～13:30		12:00 昼食・各種打合せ ～13:30	
13:30 公開シンポジウム ～16:30 (講義棟B101)	19	13:30 ラウンドテーブル〔1〕(B202)	33
		～15:30 ラウンドテーブル〔2〕(B203)	34
		ラウンドテーブル〔3〕(B205)	35
		ラウンドテーブル〔4〕(B206)	36
16:40 総会 ～17:40 (講義棟B101)			
18:00 懇親会 ～20:00 学生食堂 (大会館1階)			

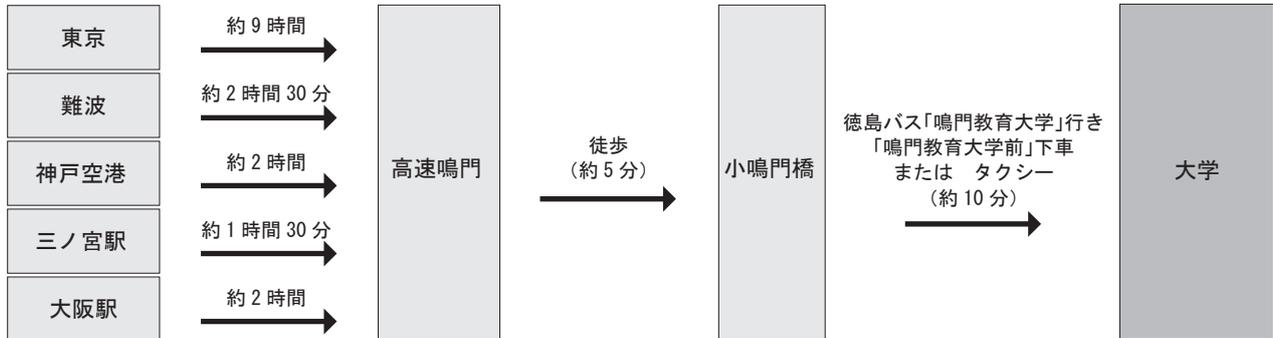
交通のご案内



徳島阿波おどり空港利用



高速バス利用



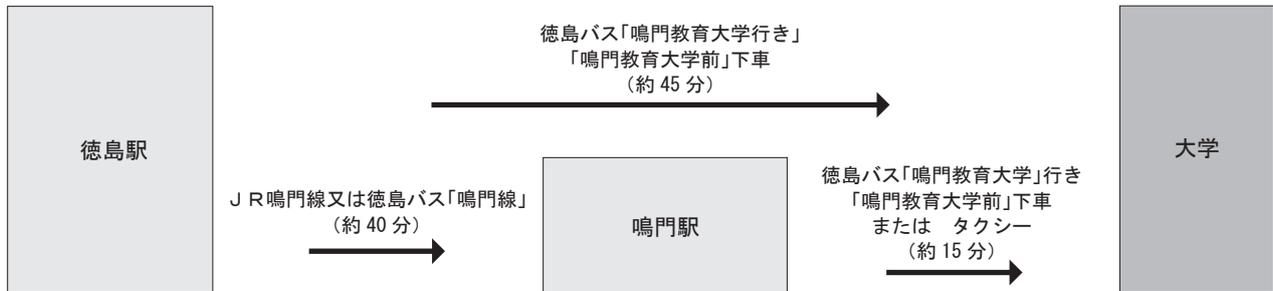
JR利用



渡船利用



県内からのアクセス



土日運休する便も多いのでご注意ください。正確な時刻表や運行状況については、下記サイトをご参照ください。

- 徳島バス株式会社 <http://tokubus.co.jp/wptbc/routebus/>
- 鳴門市地域バス <http://www.city.naruto.tokushima.jp/kurashi/sumai/kotsu/bus/tiiki.html>
- J R 高徳線 http://www.jr-shikoku.co.jp/01_trainbus/kakueki/tokushima/
- J R 鳴門線 http://www.jr-shikoku.co.jp/01_trainbus/kakueki/naruto/

タクシー会社連絡先

- 鳴門第一タクシー有限会社 (TEL : 088-685-5555)
- 徳島第一交通株式会社鳴門営業所 (TEL : 088-685-7777)
- 有限会社えびす鳴門観光タクシー (TEL : 088-685-9999 / 088-683-7070)

鳴門教育大学建物配置図



- 大会受付：講義棟 1 階ホール
- 総会・シンポジウム会場：講義棟B101教室
- ラウンドテーブル会場：講義棟B202～B206教室
- 自由研究発表会場：講義棟 1～3 階
- 懇親会：大学会館 1 階 学生食堂
- 学会事務局控室：講義棟B303教室
- 大会準備委員会控室：講義棟B302教室
- 会員控室：講義棟B304・B305教室
- シンポジウム控室：非常勤講師控室

ご 案 内

【第一日目（11月5日）】

❖ 「課題研究」報告

9:30より、B105教室にて「課題研究」に選定された各研究グループの研究報告が行われます。

❖ 公開シンポジウム

13:30より、B101教室にて公開シンポジウムを開催いたします。多数のご参加をお願いいたします。

❖ 総 会

16:40より、B101教室にて総会を開催いたします。ぜひご出席ください。

❖ 懇親会

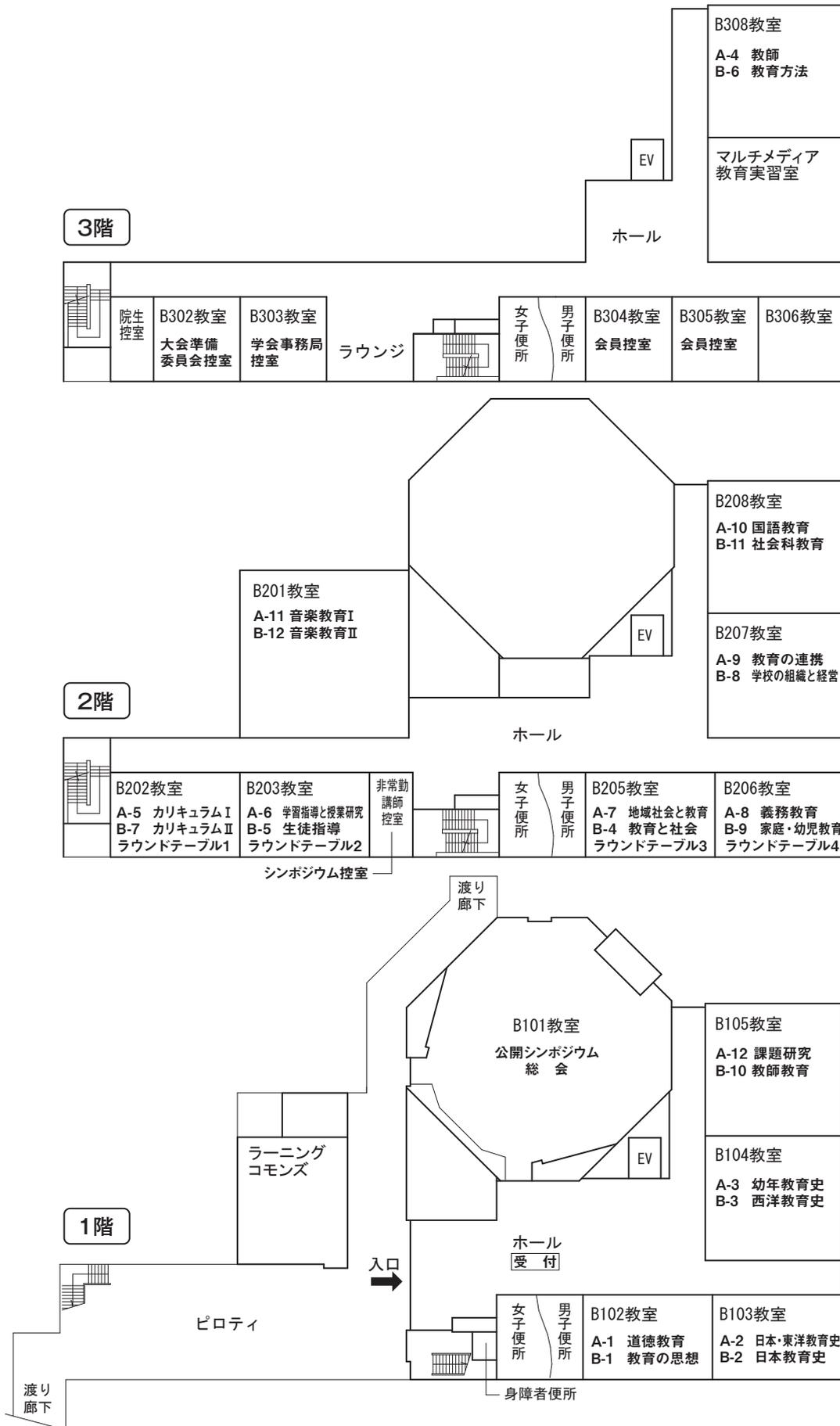
18:00より、学生食堂にて懇親会が開かれます。参加費は、4,000円（学生会員は3,000円）となっております。相互交流の場として、どうぞご参加ください。

【第二日目（11月6日）】

❖ ラウンドテーブル

13:30より、B202～B206教室にてラウンドテーブルを開催します。多くの皆様に議論にご参加いただきたいと存じます。

鳴門教育大学発表会場等配置図（講義棟）



大会 第一日

A-1 「道徳教育」部会

会場：B102教室 9：50～12：00

司会：櫻井 佳樹
(香川大学)

- ① 9:50 科学技術時代における人間観
—倫理教育を展望して— 渋山 昌雄
(島根大学・非常勤講師)
- ② 10:10 近年の道徳教育をめぐる議論の諸相 小林 万里子
(岡山大学)
- ③ 10:30 「コミュニケーション的行為の理論にもとづく
道徳授業」における合意形成プロセスに関する一考察 鈴木 篤
(大分大学)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 開発主義に基づく修身科教育の地方的展開 〇井上 快
—金江尋常小学校に着目して— (広島大学大学院・院生)
鈴木 理恵
(広島大学)
- ⑤ 11:20 I. ヤング正義論の教育学的射程 大中 のぞみ
—構造的不正義に抗する市民育成の観点から— (広島大学大学院・院生)

【総括討議 11:40～12:00】

A-2「日本・東洋教育史」部会

会場：B103教室 9：30～12：00

司会：小宮山 道夫
(広島大学)

- ① 9:30 中国女子教育近代化過程における日本女性教習の位置
—服部繁子と北京豫教女学堂を事例にして— 孫 長亮
(岡山大学大学院・院生)
- ② 9:50 吉田松陰の理想的武士観について
—その「学問」観を中心として— 野坂 静雄
(人間環境大学大学院・院生)
- ③ 10:10 吉田松陰における理想的武士観について
—「義(=生の意義)」観を中心として— 川口 雅昭
(人間環境大学)
- ④ 10:30 大正期における学校音楽教育実践の動向 須田 珠生
(京都大学大学院・院生)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 明治・大正期の輸出用寝衣・着物に関する実証的研究 柴 静子
(広島大学名誉教授)
- ⑥ 11:20 清末の癸卯学制に対する民間教育界の抵抗 班 婷
(広島大学大学院・院生)

【総括討議 11:40～12:00】

A-3「幼年教育史」部会

会場：B104教室 9：50～12：00

司会：鈴木 理恵
(広島大学)

- ① 9:50 大正期のキリスト教主義幼稚園における音楽活動
井本 美穂
(岡山理科大学)
- ② 10:10 戦前期幼年雑誌『幼年男子の友』における研究
田中 卓也
(共栄大学)
- ③ 10:30 井上武士の幼児向け音楽に関する一考察
—『幼稚園の唱歌遊戯』第一・二集(1939)の検討を
通して—
戸江 真以
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 若松幼稚園の保育内容の研究
—海老名リンの実践を中心に—
渡辺 一弘
(会津大学短期大学部)
- ⑤ 11:20 1930年代倉敷尋常小学校における「生活単位」
カリキュラム
鈴木 和正
(常葉大学)

【総括討議 11:40～12:00】

A-4「教師」部会

会場：B308教室 9：30～12：00

司会：作田 良三
(松山大学)

- ① 9:30 教師の〈語り〉はいかに語られてきたか
伊勢本 大
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 専門高校における協働的な学校経営の在り方に関する
—考察
—教職員の協働・連携を促すための取り組み—
山縣 加奈
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 戦後日本における教師像の変容
山田 浩之
(広島大学)
- ④ 10:30 教員はどのようにして指導と評価を一体化させようとして
しているのか
—高校地理教員Cと元生徒Dへのインタビュー調査に
よる事例研究—
岡田 公一
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 休職・離職をめぐる教師のライフヒストリー
○ 西本 佳代
(香川大学)
○ 山田 浩之
(広島大学)
○ 伊勢本 大
(広島大学大学院・院生)
○ 濱本 行治
(広島大学大学院・院生)
梅田 崇広
(広島大学大学院・院生)

【総括討議 11:40～12:00】

A-5「カリキュラム I」部会

会場：B202教室 9：30～12：00

司会：卜部 匡司
(広島市立大学)

- ① 9:30 グローバル化に対応した教科教育カリキュラム・指導法の特質
—シンガポールのIB校の調査を通して—
- 小原 友行 (広島大学)
○ 影山 和也 (広島大学)
○ 草原 和博 (広島大学)
○ 間瀬 茂夫 (広島大学)
○ 三好 美織 (広島大学)
- ② 10:10 工業高校のカリキュラムの幅に関する一考察
- 福石 賢一 (高知工科大学)
- ③ 10:30 フンボルトの陶冶理論に基づく教育課程構想に関する一考察
- 宮本 勇一 (広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 コンピテンスの育成を目指す科学教育の内容構成に関する考察
—シンガポールの事例に着目して—
- 三好 美織 (広島大学)
- ⑤ 11:20 英文読解のアクティブ手法の再考
- 大庭 茂美 (九州女子短期大学名誉教授)
- ⑥ 11:40 大学における学習成果のアセスメント
—学生調査の有効性と限界—
- 藤埴 智一 (宮崎大学)

A-6 「学習指導と授業研究」部会

会場：B203教室 9：30～12：00

司会：三橋 謙一郎
(徳島文理大学)

- ① 9:30 CLILを通じての試み③
—検定教科書を活用したsoft CLILの実践—
中舛 俊宏
(広島県立広島国泰寺高等学校)

- ② 9:50 広島県内の中学校音楽科教育におけるICT利用状況
松原 保子
(広島大学大学院・院生)

- ③ 10:10 「協同教育」による説明的文章の読みの学習指導に関する研究
野崎 圭介
(広島大学大学院・院生)

- ④ 10:30 総合的な学習の時間におけるコーディネーター導入に関する研究
縄田 琢真
(山口大学大学院・院生)

- 【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 子どもの認知に着目した授業分析の方法に関する一考察
松尾 奈美
(広島大学大学院・院生)

- ⑥ 11:20 授業における規律指導に関する研究
早川 知宏
(広島大学大学院・院生)

- ⑦ 11:40 学校教育における学習と文化に関する一考察
佐藤 雄一郎
(広島大学大学院・院生)

A-7「地域社会と教育」部会

会場：B205教室 9：30～12：00

司会：清國 祐二
(香川大学)

- ① 9:30 冒険遊び場で育まれる力
中嶋 裕子
(福山平成大学)
- ② 9:50 児童厚生員の専門性向上を支える要因について
—児童館のふれあい体験から—
○ 廣兼 慎
(広島大学大学院・院生)
津川 典子
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 「地域とともにある学校づくり」のマネジメントに
関する事例研究Ⅱ
—子どもの学びと地域創生を両立する学校経営—
佐々木 哲夫
(広島大学)
- ④ 10:30 地域社会における文庫活動の展開
坂田 季穂
(中国学園大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 学校を拠点とした家庭教育支援に関する一考察
藤井 瞳
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 「開かれた学校づくり」における学校と地域社会の
連携・協働に関する一考察
—H県A中学校の事例を通して—
楊 丹
(広島大学大学院・院生)

【総括討議 11:40～12:00】

A-8 「義務教育」部会

会場：B206教室 9：30～12：20

司会：米沢 崇
(広島大学)

- ① 9:30 子どもの関係づくりに資する外国語活動の
アクション・リサーチ
- 岩田 美玖
(島根大学・学生)
上森 さくら
(島根大学)
- ② 9:50 小学校の英語教育の現状
—ベトナム・カントーを事例として—
- 米倉 隆平
(鳴門教育大学大学院・院生)
- ③ 10:10 小学校音楽科におけるリトミック実践者の音楽教育観
に関する研究
- 三村 真弓
(広島大学)
○ 宇城 孝規
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 中国農村部の学校給食制度の現状と課題
—江西省と遼寧省の事例調査による分析を通して—
- 張 磊
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 NYCブループリントにおけるダンスリテラシー
- 菅尾 尚代
(広島修道大学)
- ⑥ 11:20 中国義務教育の均衡的発展政策に関する研究
- 李 憶南
(広島大学大学院・院生)
- ⑦ 11:40 小学校専科指導に関する施策
- 藤井 宣彰
(県立広島大学)
- ⑧ 12:00 子どもの学習経験をどう捉えるか
- 須田 康之
(兵庫教育大学)

A-9「教育の連携」部会

会場：B207教室 9：50～12：00

司会：宮里 智恵
(広島大学)

- ① 9:50 高知県における学校連携プロジェクトの現状と課題
—香南市における保幼小中連携プログラムを中心に—
中村 直人
(高知工科大学)
- ② 10:10 「理科」についての初等教育と中等教育の接続に関する
歴史的研究
藤森 弘子
(鳴門市鳴門西小学校)
- ③ 10:30 音楽科における小中連携教育の取り組みと今後の展望
に関する研究
今福 奈美
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 幼小連携におけるスタートカリキュラム論の検討
武内 裕明
(弘前大学)
- ⑤ 11:20 東ドイツの幼小接続期における音楽教育に関する研究
井下 べに
(広島大学大学院・院生)

【総括討議 11:40～12:00】

A-10「国語教育」部会

会場：B208教室 9：30～12：00

司会：山元 隆春
(広島大学)

- ① 9:30 「語り」と読者反応に関する文学教育の研究
—俯瞰的に読む力の育成を目指して— 諸岡 凌
(鳴門教育大学大学院・院生)
- ② 9:50 マンガのテキスト分析からみる国語科の読解指導に
関する一考察 阿部 孝秀
(福山市立大学大学院・院生)
- ③ 10:10 高等学校「近現代文学講読」における
ワイダー・リーディングの実践 松岡 礼子
—夏目漱石「三四郎」の場合— (広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 演劇的手法が促す読みの変容
—文学的文章の学習指導の場合— 太田 寛士
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 高等学校における評論文読解力を養う指導の研究
—読解方略使用傾向調査を手がかりとして— 酒巻 伸江
(鳴門教育大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 批判的思考をめざす説明的文章の指導法の考察 知念 美和
(鳴門教育大学大学院・院生)
- ⑦ 11:40 説明的文章の批判的読みの学習指導における情意的
性向の形成と評価に関する研究 村井 隆人
(広島大学大学院・院生)

A-11 「音楽教育 I」 部会

会場：B201教室 9：30～12：20

司会：工藤 千晶
(美作大学)

- ① 9:30 ドイツの器楽学習プロジェクトをとおした音楽授業の変容
伊藤 真
(広島大学)
- ② 9:50 音楽科教育における日本音楽の扱いに関する検討 (1)
仙北 瑞帆
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 岡山県倉敷市立茶屋町小学校における「ふしづくりの教育」
一県の小学校音楽科の研究指定校となった昭和51・52年度を中心として一
○吉富 功修
(広島大学名誉教授)
三村 真弓
(広島大学)
- ④ 10:30 幼児の歌唱指導法に関する基礎的研究
一出版された実践記録の検討を通して一
水崎 誠
(東京学芸大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 ピアノ学習における動機づけと感情との関連
別府 祐子
(倉敷市立短期大学)
- ⑥ 11:20 音楽の教授—学習過程の構造とその特質
前田 舞子
(鳥取短期大学)
- ⑦ 11:40 全米コア音楽標準 (2014) に基づく音楽学習に関する一考察
一Model Cornerstone Assessments (Grade 2) の分析を中心として一
峯 恭子
(大阪大谷大学)
- ⑧ 12:00 全米コア芸術標準 (2014) にみる音楽科教育におけるインクルージョンに関する一考察 (2)
一Grade 5 Model Cornerstone Assessmentsとその音楽インクルージョン方略の分析を中心として一
上野 智子
(和歌山大学)

A-12 「課題研究」 部会

会場：B105教室 9：30～12：00

司会：尾島 卓
(岡山大学)

本部会は、会員相互の共同研究活動をより一層発展させるために、2015年度より新たな試みとして始まった「課題研究」の成果報告の場として設定されたものである。

- ① 9:30 不登校・高校中退の子どもに対する教師の処遇実践に関する事例研究(1)
〔課題研究名：不登校・高校中退の子どもに対する教師の処遇実践に関する事例研究〕
(2016～17年度)
- 原田 拓馬
(山口大学大学院・院生)
- 藤村 晃成
(広島大学大学院・院生)
- ② 10:10 小学校教諭は保育者の「見守る」ことをどのように捉えるのか？
〔課題研究名：幼少接続における保育者の「見守る」アプローチに関する研究〕
(2015～16年度)
- 上田 敏丈
(名古屋市立大学)
- 中田 周作
(中国学園大学)
- 吉田 貴子
(花園大学)
- 中坪 史典
(広島大学)
- ③ 10:30 スウェーデンの就学前学級における音楽活動—マルメ市のR基礎学校における事例をもとに—
〔課題研究名：スウェーデンの就学前学級における音楽教育の意義〕
(2015～16年度)
- 松本 進乃助
(広島大学大学院・院生)
- 藤尾 かの子
(エリザベト音楽大学)

【休憩 10分】

- ④ 11:00 大学院進学にあたり大学生はどのような困難を抱えているか？
—「アカデミックコンテスト」を通じた意識の変容に着目して—
〔課題研究名：大学院教育の充実に向けた中等教育・高等教育の接続に関する研究—高校生・学部生・大学院生による研究交流プラットフォームの創成を通して—〕
(2016～17年度)
- 黒川 麻実
(広島大学大学院・院生)
- 大坂 遊
(広島大学大学院・院生)
- 河原 麻子
(広島大学大学院・院生)
- 笈野 哲史
(広島大学大学院・院生)
- 山田 直之
(広島大学大学院・院生)
- 河原 太郎
(国立教育政策研究所)
- 森 美智代
(福山市立大学)

【総括討議 11:40～12:00】

公開シンポジウム

会場：講義棟B101
13：30～16：30

「日常」と教育理論
—教育学的「実験」国家としての旧東ドイツ—

【基調提案者】

ロートラウト・コリアント（ドイツ・ドゥイスブルク・エッセン大学）
(Prof. Dr. Rotraud Coriand, Universität Duisburg-Essen)
「東ドイツにおける教師の職業的日常生活と教授学理論の発展」

【シンポジスト】

吉田 成章（広島大学）「戦後教育学研究における東ドイツ教育学の受容と展開」
河合 信晴（成蹊大学・非常勤）「東ドイツの日常生活と青年層」

【司会・通訳】

総合司会 塩路 晶子（鳴門教育大学）

司会 木内 陽一（鳴門教育大学）
原田 昌博（鳴門教育大学）

通訳・翻訳 高谷亜由子（文部科学省・生涯学習政策局）

【趣旨】

東ドイツに対する見方は、ドイツ統一後26年を経て、新資料の発掘により、否定・肯定する二分法に基づくイデオロギー論争から抜け出て、東ドイツそれ自体を客観的に見つめようとする学問的基盤が出来つつあると感じられる。旧東ドイツは、ソ連の圧倒的影響下にあったものの、その影響を受けつつも、ドイツの文化的伝統を継承することを企図した「実験国家」であったと位置づけられるであろう。この「実験」は、教育学というドイツの・伝統的な学問領域において、極めて先鋭的な形で現れたのではなかっただろうか。ただ、ドイツ統一による国家としての東ドイツの消滅により、この国の教育上の「実験」は無意味になったと判断することは、現在の研究状況から見ても拙速であろう。

本シンポジウムは、「当事者」であるコリアント氏に参加していただき、東ドイツの「日常」と「教育理論」を往還させながら、教育学的「実験」が持っていた意味について考えてみたい。このような営為により、河合氏がいうように、一つの文化基盤を持った社会が社会主義と資本主義に分断されたドイツにおいて、集中的に現れた東西冷戦の一側面にも新たな光を当てることが出来るであろう。

なお、本シンポジウムは、日本教育学会（四国地区の地区研究活動）との共催・連携のもと、公開シンポジウムとして開催されるものである。

大会 第二日

B-1 「教育の思想」部会

会場：B102教室 9：30～12：00

司会：岡谷 英明
(高知大学)

- ① 9:30 J. L. Mursellの音楽の美的概念に関する研究 森川 友恵
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 問題解決学習の原理から見る「21世紀型能力」に対する批判的考察 尾籠 祐利
(早稲田大学大学院・院生)
- ③ 10:10 ソーシャル・キャピタル概念の思想史 杉田 浩崇
(愛媛大学)
- ④ 10:30 ブルーナーのヴィゴツキー受容に関する考察 相馬 宗胤
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 言説分析の方法論的限界と実践的意義
—教育言説の多面性を表出させるために— 深見 奨平
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 エマソンの超越主義的教育思想のもつ宗教的特質 都田 修兵
(広島大学大学院・院生)
- ⑦ 11:40 音楽教育と身体感性論に関する研究 高尾 美輝
(広島大学大学院・院生)

B-2「日本教育史」部会

会場：B103教室 9：30～12：00

司会：梶井 一暁
(岡山大学)

- ① 9:30 福井県関係史料にみる第四高等学校 小宮山 道夫
(広島大学)
- ② 9:50 雑誌『音楽界』に見る明治・大正期の音楽教育の動向
に関する研究 川端 佑始
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 教育学会編『教育辞書』(1903～5年)における
「研究」概念 白石 崇人
(広島文教女子大学)
- ④ 10:30 屏陽義塾の教育活動 鈴木 理恵
(広島大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 鹿児島県における旧制中学校卒業生の進路 烏田 直哉
(東海学園大学)
- ⑥ 11:20 新制東北大学における小学校教員養成の陥穽
—教科専門教育をめぐる議論を手がかりに— 久恒 拓也
(広島大学)

【総括討議 11:40～12:00】

B-3 「西洋教育史」部会

会場：B104教室 9：30～12：00

司会：三時 眞貴子
(広島大学)

- ① 9:30 イギリスにおける中等教育修了資格試験の成立
中村 勝美
(広島女学院大学)
- ② 9:50 英国のシティズンシップ教育の振興と展開
山口 裕毅
(環太平洋大学)
- ③ 10:10 前世紀転換期イギリスにおけるシティズンシップ教育に関する研究
—教科書『The Citizen Reader』の分析を通して—
大空 秀文
(広島大学・学生)
- ④ 10:30 英国GCSE試験「シティズンシップ」は教師のカリキュラムデザインにどのように影響を与えるか
—A中等学校を事例に—
河原 洸亮
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 20世紀初頭ドイツにおける女性社会福祉職による青少年教護
杉原 薫
(鹿児島大学)
- ⑥ 11:20 19世紀末から20世紀初頭イギリスの学校給食制度の研究
—慈善組織協会に注目して—
増田 圭佑
(広島大学大学院・院生)

【総括討議 11:40～12:00】

B-4 「教育と社会」部会

会場：B205教室 9：30～12：00

司会：中田 周作
(中国学園大学)

- ① 9:30 韓国的高等教育におけるグローバル人材育成政策
—地方大学におけるグローバル人材育成の取り組みを
中心に— 姜 姫銀
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 高校職業教育の経験と初期キャリア形成の関連 尾川 満宏
(愛媛大学)
- ③ 10:10 公務員の人材育成に関する一考察 山本 さやか
(一般財団法人自治体国際化協会)
- ④ 10:30 ドイツの大学における「学び直し」に関する考察 卜部 匡司
(広島市立大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 「教育不信と教育依存の時代」の再考 大橋 隆広
(広島女学院大学)
- ⑥ 11:20 The Life History of Chinese Foreign Students in Japan 楊 駒
(広島大学大学院・院生)
- ⑦ 11:40 中国の教育現場におけるジェンダー 付 宇倩
(広島大学大学院・院生)

B-5 「生徒指導」部会

会場：B203教室 9：30～12：00

司会：田中 理絵
(山口大学)

- ① 9:30 脱落型不登校児童の実態
○ 笹倉 千佳弘
(就実短期大学)
井上 寿美
(大阪大谷大学)
- ② 9:50 台湾の不登校支援における教員とSCの連携に関する研究
川瀬 瑠美
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 中国におけるいじめ研究の現状と課題
陳 林奇
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 都道府県・指定都市・中核市教育委員会における生徒指導・教育相談のスクールサポートに関する調査研究
石田 美清
(埼玉県立大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 「治療」の場としてのフリースクール
藤村 晃成
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 人間関係からみる生徒の生活世界
梅田 崇広
(広島大学大学院・院生)
- ⑦ 11:40 中学校における生徒指導の困難をめぐる教育社会学的研究
濱本 行治
(広島大学大学院・院生)

B-6「教育方法」部会

会場：B308教室 9：30～12：00

司会：権藤 誠剛
(島根大学)

- ① 9:30 ドイツにおける健康教育実践に関する一考察 吉田 成章
(広島大学)
- ② 9:50 「健常者」と「障害者」の境界に関する研究 岡谷 絢子
(山口大学大学院・院生)
- ③ 10:10 インクルーシブ教育における総合的学習の検討 吉田 茂孝
(大阪教育大学)
- ④ 10:30 陶冶履歴研究 (Bildungsgangforschung) にもとづく
学習者の参加に関する一考察 樋口 裕介
(福岡教育大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 批判理論に基づく授業研究に関する一考察 松田 充
—ドイツにおける授業分析の比較検討を手がかりに—
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 教育における「解釈」の問題に関する一考察 中野 和光
(美作大学)

【総括討議 11:40～12:00】

B-7「カリキュラムⅡ」部会

会場：B202教室 9：30～12：00

司会：山岸 知幸
(香川大学)

- ① 9:30 大学生の生地に対する知識と被服選択
—現状と家庭科教育への提案—
- 小林 久美
(東京未来大学)
鈴木 公啓
(東京未来大学)
- ② 9:50 「人間としての生き方」を考える道德学習プログラムの
開発研究
—「伝記教材」(中学生用)と「道德学習プログラム」
の開発を通して—
- 福原 栄治
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 拡張する特別活動による道德性に関する考察
—自己肯定感を高める新カリキュラムの検討—
- 作田 澄泰
(早稲田大学教師教育研究所・
招聘研究員)
- ④ 10:30 わが国における中等社会科教員養成カリキュラムの
仮説的類型化
—3大学のカリキュラムの構造と学生への質問紙調査
の分析を通して—
- 大坂 遊
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 低学年カリキュラムの構成と子どもによる言語の獲得
に関する一考察
- 廣中 眞由美
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 モンテッソーリ・メソッドにおける音感ベル指導法の
展開
—J. K. Millerの音楽カリキュラムに着目して—
- 藤尾 かの子
(エリザベト音楽大学)

【総括討議 11:40～12:00】

B-8 「学校の組織と経営」部会

会場：B207教室 9：30～12：00

司会：林 孝
(広島大学)

- ① 9:30 学校経営における「多様性」の尊重に関する一考察 熊丸 真太郎
(島根大学)
- ② 9:50 「エビデンスに基づく学級経営」の批判的検討 熊井 将太
(山口大学)
- ③ 10:10 学校マネジメントの力量を形成する
アクティブ・ラーニングとしてのアクション・リサーチ
に関する考察(1) ○曾余田 浩史
(広島大学)
○山本 遼
(東九州短期大学)
○梶山 ちひろ
(広島大学大学院・院生)
○藤井 智子
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 学校の組織づくりのためのコミュニケーションに
関する一考察 曾余田 順子
- ⑤ 11:20 教員の人材育成と組織力の向上に資する
『『思い』によるマネジメント(MBB)』に関する研究
—「思い」の組織的つながりに注目して— 中尾 希恵
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:40 レッスン・スタディにおける教師と教師集団の成熟に
関する考察(3) 森下 真実
(広島都市学園大学)

B-9「家庭・幼児教育」部会

会場：B206教室 9：30～12：00

司会：武内 裕明
(弘前大学)

- ① 9:30 インドネシアの親の養育態度
Cininta Aprina
(チニンタアプリナ)
(山口大学大学院・院生)
- ② 9:50 中国における親世代と祖父母世代の子育て意識に
関する研究
—日本との比較を通して—
周 心慧
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 在日中国人幼児の園生活が家庭に持ち込む影響
—ある中国人男児家庭の事例から見えてくるもの—
王 心慧
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 外国籍の子どもの教育・保育の質を保障する支援体制
構築に関する研究
—〇県内保育施設における就園状況を手がかりにして—
○ 柏 まり
(岡山県立大学)
佐藤 和順
(岡山県立大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 米国における州共通コアスタンダード (Common Core
State Standards) の検討
—系統的な連続性に基づく幼稚園学年 (Grade K) の
スタンダードという視点から—
佐々木 大和
(弘前大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 幼児と幼児の間
—その関わりの心理学的考察—
中野 桂子
(福岡大学大学院・研究生)
- ⑦ 11:40 学び続ける保育者の専門性と保育者研修に関する考察
深澤 悦子
(広島都市学園大学)

B-10「教師教育」部会

会場：B105教室 9：30～12：00

司会：石村 雅雄
(鳴門教育大学)

- ① 9:30 教員養成課程における学生の教師像
—大学入学時の学生が見習いたい教師の行動や考え方の分析から—
- 別惣 淳二
(兵庫教育大学)
- 大関 達也
(兵庫教育大学)
- ② 10:10 音楽科教員養成課程における我が国の伝統音楽の扱い
- 大井 絃
(広島大学大学院・院生)
- 伊藤 真
(広島大学)
- ③ 10:30 教員養成系大学における東南アジアからの留学生受入の現状と課題
- 桑山 尚司
(広島大学)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 教職大学院における実務家教員のFDに関する研究 (2)
- 沖野 清治
(広島大学)
- 佐々木 哲夫
(広島大学)
- 西本 正頼
(広島大学)
- 大里 剛
(広島大学)
- ⑤ 11:40 音楽科授業に対する教職大学院生の課題意識
- 河邊 昭子
(兵庫教育大学)

B-11 「社会科教育」部会

会場：B208教室 9：50～12：00

司会：伊藤 直之
(鳴門教育大学)

- ① 9:50 米国社会科研究ではなぜ・どのように
「コンテクスト」の意味を深化・拡大させてきたか
—Keith C. Bartonの研究を手がかりにして—
守谷 富士彦
(広島大学大学院・院生)
- ② 10:10 地域教材を活用した思考力・判断力・表現力を
育成する中学校社会科歴史学習法の開発
—平清盛と厳島神社—
斉藤 弘樹
(熊野町立熊野中学校)
- ③ 10:30 「総合的問題解決能力」を育成する中学校社会科
時事問題学習の授業開発
竹内 和也
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 地理教材研究資料論
—どのような教材研究が行われ、どのような授業が
作られてきたか—
稲垣 和
(広島大学大学院・院生)
- ⑤ 11:20 日本における国際バカロレアHistoryの特質
—実践校での調査を通して—
辻 幸大
(広島大学大学院・院生)

【総括討議 11:40～12:00】

B-12 「音楽教育Ⅱ」部会

会場：B201教室 9：30～12：00

司会：水崎 誠
(東京学芸大学)

- ① 9:30 時代やジャンルをまたいだ鑑賞方法の価値の検討
森保 尚美
(広島女学院大学)
- ② 9:50 我が国におけるコダーイ教育実践者の音楽教育理念に関する研究
富永 素子
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 演奏楽器の違いによる演奏者の心理的ストレスに関する探索的研究
平山 裕基
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 音高はずれの歌唱の治療を支援するコンピュータソフトウェア“Voice match for Windows”の開発—第2報—
大西 潤一
(元 鈴峯女子短期大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 聴取力の発達に関する研究
○ 三村 真弓
(広島大学)
吉富 功修
(広島大学名誉教授)
長澤 希
(広島大学附属三原小学校)
- ⑥ 11:20 Hermann Kretschmar Konferenzbericht Olbernhau (1998) の特徴
工藤 千晶
(美作大学)
- ⑦ 11:40 小学校音楽科教科書における「音楽づくり」に関する一考察—教育芸術社及び教育出版の教科書の比較を通して—
岡崎 藍
(広島大学大学院・院生)

ラウンドテーブル〔1〕

会場：B202教室
13：30～15：30

教育学研究と実践志向の
教員養成改革の関係性を問う

【企画者】

佐藤 仁（福岡大学）

【司会】

佐藤 仁（福岡大学）

【提案者および提案題目】

杉田 浩崇（愛媛大学）

教育哲学の立場から

白石 崇人（広島文教女子大学）

教育史の立場から

樋口 祐介（福岡教育大学）、熊井 将太（山口大学） 教育方法学の立場から

【企画趣旨】

矢継ぎ早に展開される近年の教員養成改革は、実践志向性という性格を有する。教員養成を行う大学は、学校現場で即座に活用できる知識や技能の育成が求められ、それを可能とするカリキュラムや組織体制の改革を進めている。実践志向性の矛先は、教員養成を支える教育学研究にも向けられている。特に、効果的な教育実践を担保する「エビデンス」の提供が教育学研究の成果として期待されるようになり、教育学研究の意義の問い直しを迫るものとなっている。

本ラウンドテーブルでは、いくつかの教育学領域を事例に、実践志向の教員養成改革によって、それぞれの学問の固有性や意義がどう再検討されているのか、またそれらの違いはどこにあるのか等を整理し、教育学研究と実践志向の教員養成改革の関係性を議論する。

なお、本企画は、2016・17年度中国四国教育学会課題研究「教員養成における「エビデンス」の位置づけをめぐる学際的研究」の一環である。

ラウンドテーブル〔2〕

会場：B203教室
13：30～15：30

教科化後の道德教育を担う教員を
大学はどう育てられるか

【企画者】

鈴木 篤（大分大学）

【基調提案】

渡邊 満（広島文化学園大学）

【コメンテーター】

坂越 正樹（広島大学）

【提案者および提案題目】

- | | |
|---------------|---|
| 櫻井 佳樹（香川大学） | これからの道德教育を担う教員を育てるために
—中学校校長としての道德教育実践を踏まえて— |
| 都田 修兵（広島大学院生） | 道德授業の難点を大学における講義でどのように考えるか |
| 山口 裕毅（環太平洋大学） | 「考える道德」の指導方法をいかに構想するか |
| 鈴木 篤（大分大学） | 学生が「体感」して学ぶ道德授業方法の講義を目指して |

【企画趣旨】

道德の教科化にともない「考える道德」「議論する道德」への転換が求められている。本ラウンドテーブルでは、そうした道德教育を担う教員を、大学でどのように育成することが可能なのか、それぞれの実践例や研究成果を紹介し合いながら、議論してみたい。

ラウンドテーブル〔3〕

会場：B205教室
13：30～15：30

教職課程科目「道德教育(指導法)」をいかに教授するか —「特別の教科道德」をケースメソッドで教える教師の養成可能性に焦点を当てて—

【企画者】

竹内 伸一（徳島文理大学）

【司会】

竹内 伸一（徳島文理大学）

【提案者および提案題目】

竹内 伸一（徳島文理大学） 初等教員志望の児童学科学生が履修する「道德教育」での教員教育実践とその考察

林 照子（甲南女子大学） 養護教諭志望の看護学科学生が履修する「道德教育の指導法」での教員教育実践とその考察

【企画趣旨】

学校を舞台に、もう間もなくその幕を明けようとしている「特別の教科道德」は、それを教える教師に、「道徳的諸価値を教師が『教え込む』のではなく、児童・生徒たちの主体的な学習を通して、考えさせ、議論させることを求めている。教職課程科目「道德教育（指導法）」は、こうした教育力量をもった新人教師をどのように育成し得るのだろうか。

本ラウンドテーブルでは、提案者たちは「特別の教科道德」で活用され得る教授法のひとつとして、ケースメソッド（Case Method of Instruction）に期待している。また、表記テーマの研究にもすでに着手しており、【道德教育×ケースメソッド】に関する知識を整理しながら、各自が担当する教職課程科目において、試験的に実践をはじめている。

当日はこれらの報告を手がかりに、「特別の教科道德」をケースメソッドで教えることができる若き教師たちの教職課程学生時代の養成のあり方を、フロアの会員とともに展望したい。

ラウンドテーブル〔4〕

会場：B206教室
13：30～15：30

教師教育担当者の省察とこれからの教師教育
—教職大学院担当者の経験から—

【企画者】

丸橋 静香（島根大学）

【指定討論者】

曾余田 浩史（広島大学）

【提案者および提案題目】

- 佐々木 司（山口大学） 教職大学院一本化移行・定着期における大学教員の養成・採用・研修
小林 万里子（岡山大学） 授業実践力とカリキュラム構想力の相補性—道德教育担当者の立場から—
熊丸 真太郎（島根大学） 「学校経営」について学ぶ際の「経験」の意味
丸橋 静香（島根大学） 「教師に求められる倫理」に関する教育の実践上の課題

【企画趣旨】

近年、中国・四国地区でも教職大学院が相次いで発足している。大学教員には、受講者により良い「省察」をもたらすべく、これまでの文献学的な指導から、方法としては「アクティブラーニング」が、授業内容については「役立ち」がよりいっそう求められるようになった。この転換は、大学教員のこれまでの教育・研究の方向性・姿勢に、否応なく「省察」を迫るものとなっている。

本ラウンドテーブルは、比較的最近教職大学院の担当者となることで、まさにこうした「省察」の最中にある者が、自身の経験の分析・解釈から、今後の教職大学院における教師教育のあり方を議論するものである。ここからは、教師教育者としての大学教員の成長の手がかりのみならず、教師教育それ自体をより良いものにする方向性も見出されるのではないかと考えている。